

令和4年度沖縄県総合防災訓練説明資料（全体）



1 実践的な訓練へのシフト等

(1) 現状及び課題

- ① 従来の県総合防災訓練では、避難所や輸送訓練等は、グラウンドに設置した集会用・イベント用テントを避難所と見立てるなど、必ずしも実践的とは言えない構成となっている。
- ② これまでも北部、中部、南部、宮古、八重山の圏域ごとに各市町村での訓練を実施しているものの、参加者は市町村職員、地域住民が主で、県関係各課との関わりがほとんどなく、平時からの連携構築が十分でない。

(2) 実践的な訓練へのシフト及び県関係各課の参画

より訓練効果を高めるため、以下の事項に取り組む。

- ① 津波避難や避難所、物資輸送訓練などは、地域ごとの避難ルートや避難所施設、物資輸送拠点施設を使用するなど、できる限り実際の災害時に近い状況での訓練が効果的である。
そこで、物資輸送訓練は、広域物資輸送拠点として使用を想定している施設を使用するほか、これまで実動訓練として取り組みが弱い、高齢者などの要支援配慮者、観光客に特化した津波避難、避難所設置運営訓練などを実施する。

2 実践的な訓練へのシフト等

- ② 発災時における県の役割としては、災害対策本部における情報収集及び関係機関等との連絡・調整が主な役割となるが、これまで実動訓練にほとんど県担当課の関わりがなく、現場対応への理解が十分でないため、訓練内容の企画立案の段階から県担当課も関わり、市町村や国、防災関係機関等と連携することで、現場の災害対応内容への理解を深めるとともに、訓練を通して平時から市町村、国、防災関係機関等との風通しのよい関係構築を図る。

(3) その他（部会の再編）

これまで、消防、医療、航空、通信、ライフライン（インフラ復旧、生活支援）の各専門部会で、それぞれ訓練内容について議論を行っていたが、1つの訓練が複数の部会にまたがり議論内容の集約が難しいこと、部会の回数が多くなること、構成員が重複するなど、効率的ではないことから、訓練毎に部会を再編する。

なお、部会を横断して協議する必要がある場合は、主となる部会への関係機関の参加や合同会議など、必要な措置を講じる。

3 訓練項目比較

訓練項目	現行		R4案		想定機関
(1) 偵察・先遣隊、映像等通信訓練	通信 航空 部会	グラウンド等で実施	部隊 運用	変更なし	沖縄総合事務局、自衛隊、第十一管区保安本部等
(2) 救出・救助、搬送訓練	医療 消防 航空 通信 部会	グラウンド等で実施	医療 訓練 部会	変更なし	消防、警察本部、自衛隊、第十一管区保安本部、DMAT、住民等
(3) 災害医療訓練		グラウンド等で実施		変更なし	DMAT、消防、県医療政策課等
(4) 消火活動訓練		グラウンド等で実施		変更なし	消防、自衛隊等
(5) 避難訓練	ライ フラ イン 部会 (生活 支援)	各市町村、グラウンド等で実施	津波避 難、避 難所設 置・運 営訓練 部会	各市町村施設にて実施。県庁関 係課も参画。	市町村、自主防災組織（自治会）、県福祉政策課、県観光政策課、県観 光振興課、要支援配慮者施設管理者、OCVB、観光危機管理研究所等
(6) 避難所の設置・運営訓練 (炊き出し含む)	ライ フラ イン 部会 (生活 支援)	各市町村、グラウンド等で実施			
(7) 物資輸送訓練	航空 部会	グラウンド等で実施	物資輸 送訓練 部会	沖縄市（広域物資輸送拠点：沖縄 アリーナ）にて実施。県庁関係課 参画。	県交通政策課、市町村、県トラック協会、県倉庫協会等
(8) 道路啓開訓練	ライ フラ イン 部会	グラウンド等で実施	イン フラ 復旧 訓練 部会	変更なし※①	県建設業協会、県金属資源工業会、JAF等
(9) 電力・ガス復旧訓練	ライ フラ イン 部会	グラウンド等で実施		調整中※②	沖縄電力、石油商業組合、沖縄総合事務局、那覇産業保安監督事務所、 高圧ガス保安協会、沖縄ガス等
(10) 通信復旧訓練	インフ ラ復旧	グラウンド等で実施		各市町村施設にて実施。	NTT西日本、NTTドコモCS九州沖縄支店、沖縄セルラー電話、沖 縄総合事務局、沖縄総合通信事務所等
(11) 検視訓練	医療 部会	グラウンド等で実施	個別	沖縄市（武道館）にて遺体収容 施設運営訓練を実施。県庁関係 課参画。	市町村、警察本部、県衛生薬務課、DPAT等
(12) 防災設備・パネル等の展示	その他	グラウンド等で実施	その他	変更なし	関係機関

4 訓練各部会編成①

総括担当：県防災

1 部隊運用・医療訓練部会※


項目	参加機関	実施・進捗
(1)偵察・先遣隊、映像等通信訓練	自衛隊、県警、海保、沖総局、沖総通等	県防災
(2)偵察・先遣隊、映像等通信訓練	自衛隊、県警、海保、沖総局、沖総通等	県防災
(3)救出・救助、搬送訓練	消防、自衛隊、県警、海保、DMA T等	県防災、県医療政策課
(4)災害医療訓練	消防、自衛隊、DMA T等	県防災、県医療政策課
(5)消火活動訓練	消防、自衛隊等	県防災

2 インフラ復旧訓練部会

項目	実施・進捗	参加機関
(1)道路啓開訓練	県防災	建設業協会、金属資源工業会、J A F等
(2)電力・ガス復旧訓練	県防災	沖縄電力、石油商業組合、那覇産業保安監督事務所等
(3)通信復旧訓練	県防災	NTT西日本、ドコモCS九州沖縄支店、沖縄セルラー電話、沖総通

3 津波避難、避難所設置・運営訓練部会

項目	参加機関	実施	進捗管理
一般	市町村、自治会、JMAT(県医師会)、県高圧ガス保安協会等	市町村	県防災
要支援配慮者	市町村、個別計画該当者、DWAT等	県福祉政策課、市町村	県防災
観光	市町村、観光危機管理OCVB等	県観光政策課、県観光振興課、市町村	県防災

 緊急消防援助隊訓練

役割

- ①総括担当：訓練が円滑に計画されるよう各部会の進捗を把握するとともに、各部会の共通事項、横断的な事項等の総合調整を行う。
- ②進捗管理担当：担当部会の進捗を把握し、全体会議等に向けた資料の取りまとめを行うとともに、必要に応じて総括担当へ報告を行う。
- ③実施担当：部会の中で、防災関係機関の意見を参考に訓練の実施計画や訓練資料の作成、必要な手続き等を行う。

※参加機関も必要に応じて資料作成等を行うこともある。

5 訓練各部会編成②

4 物資輸送訓練部会		
参加機関	実施	進捗管理
市町村、トラック協会、倉庫協会、生協等	県交通政策課、市町村	県防災

5 遺体収容所設置・運営訓練※			
項目	参加機関	実施担当	進捗担当
(1)検視、検案、身元調査訓練	県警、市町村	県防災	県防災
(2)一時安置所、遺族受付、遺族対応訓練	県警、市町村、DPAT	県防災	県防災
(3)火葬許可発行訓練	市町村	県衛生薬務課	県衛生薬務課

※ 5 遺体収容所設置・運営訓練は、部会という形式をとらず実施した。

6 令和4年度 実施予定日等

訓練項目	実施予定日	場所
(1)部隊運用・医療訓練	R4.11.27 (日)	中城湾港マリンタウン地区
(2)インフラ復旧訓練	道路啓開訓練：R4.11.27 (日) 電力・ガス、通信復旧訓練：調整中	道路啓開訓練：中城湾港マリンタウン地区 電力・ガス、通信復旧訓練：調整中
(3)避難・避難所設置運営訓練		
①観光客・観光施設	R5.2.2 (木) 調整中	読谷村 (場所等調整中)
②避難行動要支援者	調整中	中城村 (場所等調整中)
③一般	ア 避難所設置・運営 うるま市：R4.11.27 (日) 北谷町：調整中 イ 津波避難 宜野湾市：R4.12.4 (日)	ア 避難所設置・運営 うるま市：田場公民館、具志川東中学校 北谷町：調整中 イ 津波避難 宜野湾市：調整中
(4)物資輸送訓練	R5.1.20 (金)	沖縄市アリーナ
(5)遺体収容所設置・運営訓練	R4.7.29 (金)	沖縄市武道館

主 催 : 沖縄県、中部圏域市町村

※部隊運用・医療訓練は、緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練日程(11月26日、27日)と27日のみ合同開催

7 沖縄県総合防災訓練と緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練との相関

総合防災訓練

緊援隊訓練

【消防が関わる訓練】

<県内消防・九州消防>

- ・火災消火訓練
- ・資機材の引継ぎ訓練
- ・部隊進出訓練
- ・野営・給食訓練

<消防・自衛隊・警察・海保・医療等>

- ・孤立者救出訓練
- ・火災消火訓練
- ・救出・救助訓練
- ・救護所設置運用訓練
- ・DMAT派遣
- ・傷病者選別訓練
- ・急患搬送訓練 等

偵察・先遣隊、映像等
通信訓練※1

道路啓開訓練※1

部隊運用・医療訓練(11.27 マリントウン地区)

※1は、消防と間接的に関わる訓練

物資輸送訓練

(R5.1.20沖縄市アリーナ)

電力復旧訓練※2

遺体収容施設
設置・運営訓練

(7.29沖縄市武道館)

ガス復旧訓練※2

通信復旧訓練※2

津波避難、避難所設置運営訓練

<一般、要支援配慮者、観光客>

(日程、会場等は調整中)

※2は、同一会場で実施する関連した訓練

8 訓練基本想定（部隊運用・医療訓練、津波避難訓練）

沖縄県地震被害想定調査（H25）で想定する「沖縄本島南東沖地震3連動」を基にした以下の内容とする。

令和4年11月26日（土）9時00分頃、沖縄県与那原町東浜を震源とするマグニチュード6.5の地震が発生し、県内中・南部の市町村を中心に震度6強、6弱を観測した。

さらに同日9時20分には、先の地震と連動して沖縄本島南東約150Km沖を震源としたマグニチュード8.0の地震が発生、この地震により9時23分には沖縄県沿岸全域に大津波警報が発表され、9時50分に沖縄本島中・南部沿岸部に到達した津波により、各地で被害が発生した模様である。

この2つの地震及び津波により、特に与那原町、中部圏域では人的・物的被害が甚大となり、一部地域では火災も発生している。なお、被害の全容は把握されておらず、さらに人的・物的被害が拡大している模様である。